

東京湾海況情報 27-8

東京湾水質調査結果 (平成27年11月)

(平成27年11月17日発行)

千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 〒 293-0042 富津市小久保3091
 TEL 0439-65-3071
 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp
 千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 11/4：内湾(ふさなみ)、11/6：内房海域(ふさみ丸)
 関東・東海海況速報(11/6)、東京湾口海況図(11/6)
 モニタリングポスト11/6：国土交通省関東地方整備局、海上保安庁
 東京都環境局(11/6)

【 水温・塩分の状況 】

内湾の表層水温(図1)は18~19℃台で、ほぼ平年並みでした。塩分は羽田沖でやや低くなっているものの、おおむね30~32PUS台で、平年よりやや高めになっています。内房海域の表層水温は19℃台で、金谷以南の海域では平年より約1~2℃低めでした。塩分は32~33PSU台で、ほぼ平年並みになっています。縦断ラインの水温・塩分の鉛直分布(図3)では、水温は表層と底層の温度差がかなり小さくなっていますが、塩分は内湾中央部の底層付近まで34以上の水塊が分布していました。

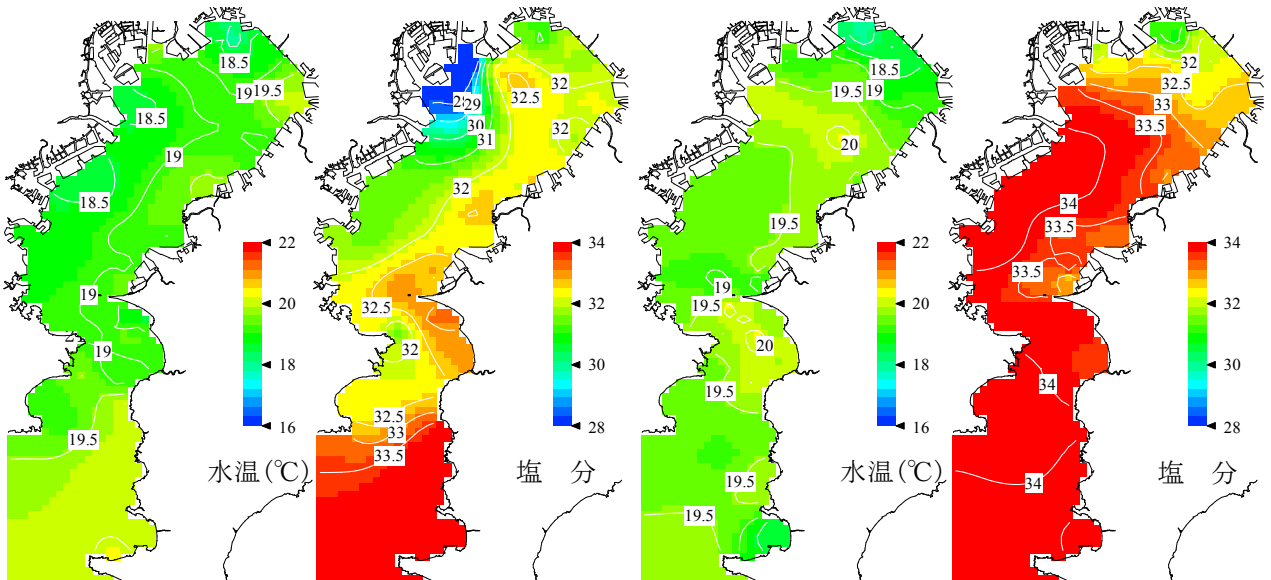


図1 水温・塩分分布(表層)

図2 水温・塩分分布(底層)

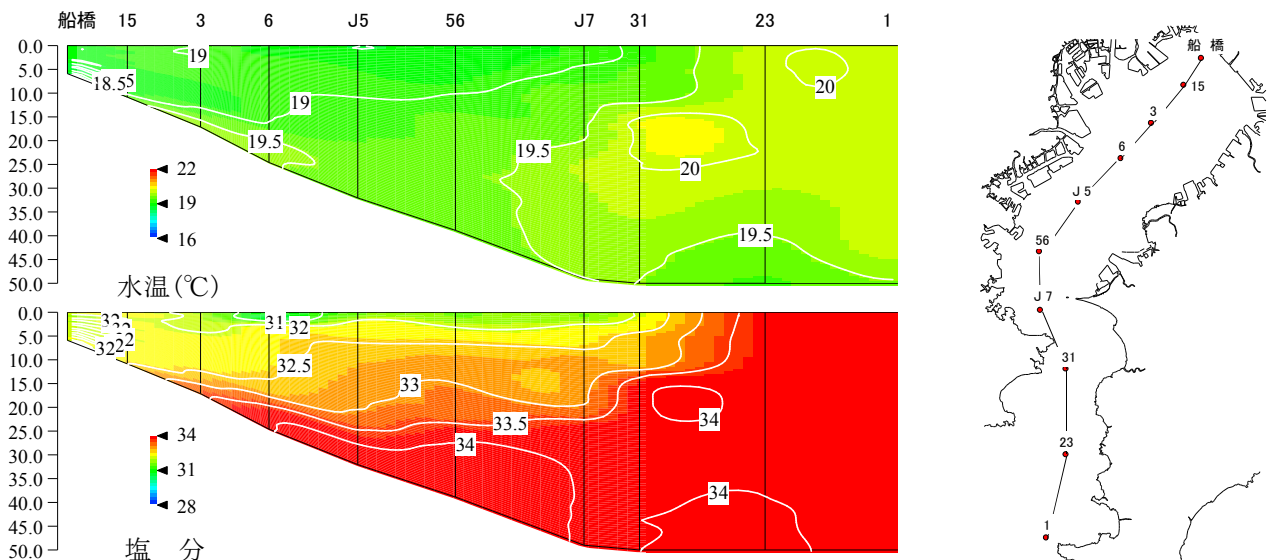


図3 縦断ラインの水温・塩分の鉛直分布(上：水温、下：塩分、右：調査ライン)

【 赤潮の状況 】

赤潮は全域で発生していませんでした。プランクトンは少なく、渦鞭毛藻のアカシオ サンガイネア (*Akashiwo sanguinea*) が内湾で、ケイ藻のキートケロス (*Cheatoceros* sp.) は内房北部でやや多くみられる程度でした。透明度は内湾北部でやや低いところがみられましたが、おおむねで4m以上あり、水色もほぼ黄緑色でした。

内湾北部では魚介類などに被害を及ぼすカレンミア ミキモトイ (*Karenia mikimotoi*) がみられました。

一方、保田から富浦にかけての周辺海域ではプランクトンは少なく、ケイ藻類がみられる程度でした。

※ 千葉県の赤潮の目安は次のとおりです。

色	: オリーブ～褐色
酸素飽和度	: 150%以上
透明度	: 1.5m以下
pH	: 8.5以上
クロロフィルa	: 50 μ g/L以上

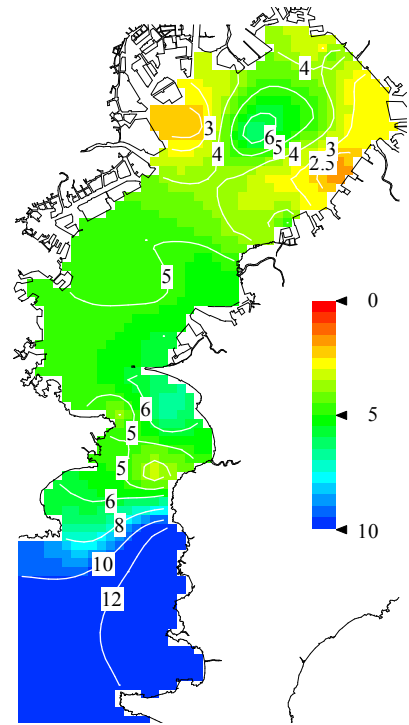


図4 透明度の分布 (m)

【 貧酸素水塊の状況 】

内湾底層部の溶存酸素量(図5, 6)は北部海域でやや低いところがみられ、弱い貧酸素水塊が残っていました。

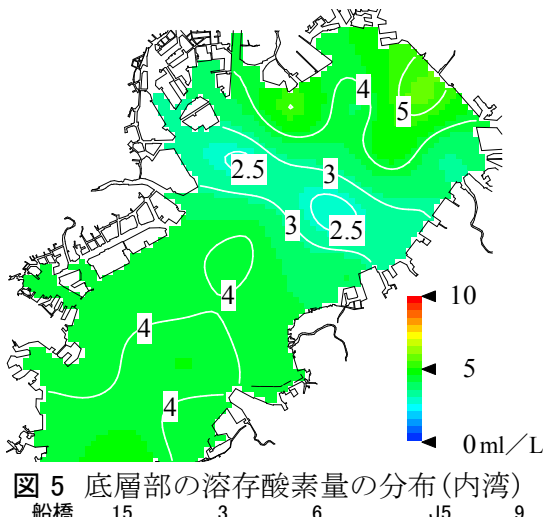


図5 底層部の溶存酸素量の分布(内湾)

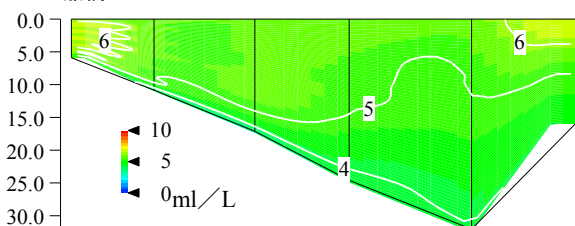


図6 縦断面の溶存酸素量の分布(内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L (酸素飽和度50%) 以下を貧酸素水塊としています。

【 栄養塩の状況 】

湾内の表層栄養塩(図7)は溶存無機態窒素(DIN)が平年よりやや少なめで、リン酸態リン(PO₄-P)はほぼ平年並みでした。

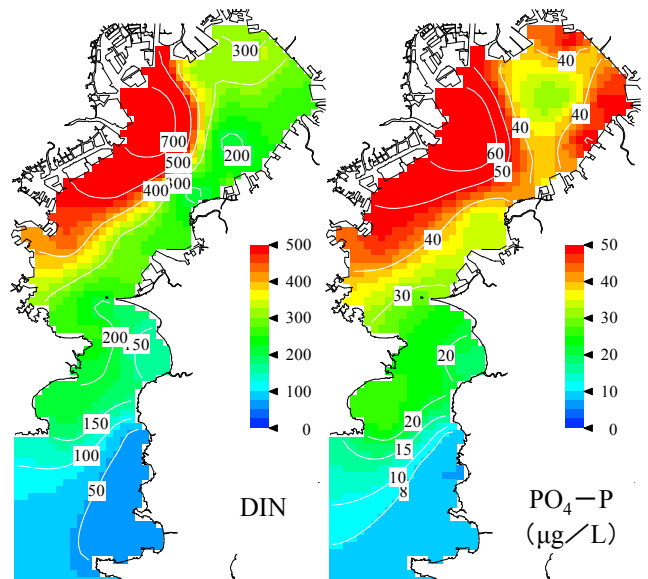


図7 栄養塩濃度の分布 (表層)

【黒潮の状況】

黒潮はC型基調で推移し、その流軸は6日現在八丈島付近を通過した後北上し、房総半島南東岸を蛇行しながら北東方向へ流れています(図8)。

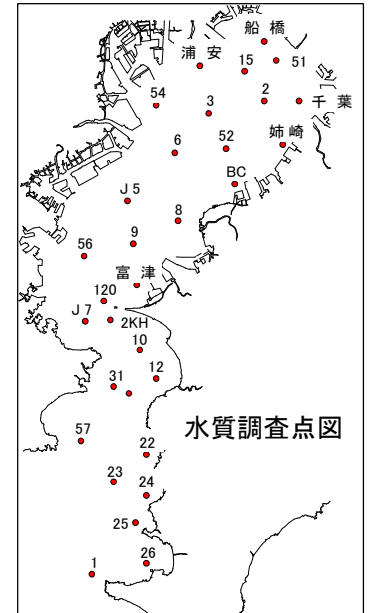
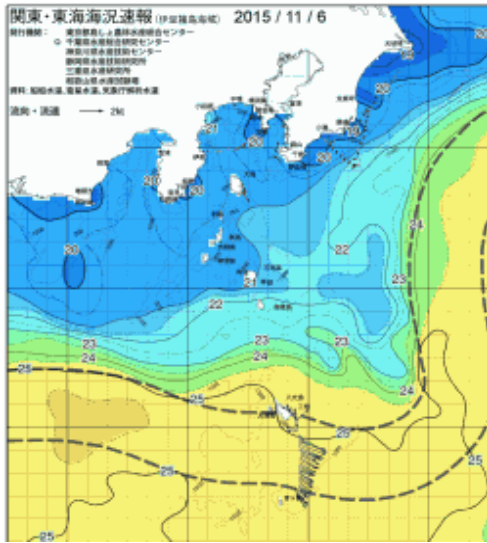


図8 黒潮の動き (平成27年11月6日)

表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)
(): 最近10年間の平均値 (2003~2012年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (µg/L)	溶存無機態窒素 (µg/L)	リン酸態リン (µg/L)	クロロフィルa (µg/L)	分析中
内湾	船橋	18.5 (19.0)	31.72 (31.02)	3.0 (3.4)	8.3 (8.2)	4.8 (3.4)	80 (83)	286 (404)	49 (54)	
	st.15	18.9 (18.9)	32.17 (30.48)	4.8 (3.6)	8.2 (8.3)	3.7 (1.7)	98 (51)	312 (442)	35 (42)	
	st.3	19.0 (18.6)	31.84 (29.85)	6.5 (3.8)	8.2 (8.4)	2.8 (2.3)	91 (43)	375 (481)	38 (34)	
	st.6	18.7 (18.5)	30.56 (29.34)	4.0 (4.2)	8.2 (8.3)	3.9 (3.4)	150 (55)	741 (505)	70 (35)	
	st.9	19.1 (18.9)	32.04 (30.39)	4.8 (4.7)	8.3 (8.3)	4.2 (4.2)	61 (53)	285 (465)	39 (34)	
	st.BC (盤洲Cブイ)	19.5 (20.0)	32.45 (30.69)	5.0 (4.2)	8.2 (8.3)	3.7 (3.6)	114 (40)	270 (346)	35 (33)	
	st.8 (盤洲A南)	19.2 (19.2)	32.51 (30.88)	5.5 (4.7)	8.3 (8.3)	3.9 (3.9)	99 (45)	255 (364)	33 (35)	
	富津	19.0 (19.1)	32.76 (31.58)	6.0 (4.9)	8.1 (8.3)	3.8 (4.5)	115 (46)	273 (331)	31 (24)	
内房海域	st.2KH (第2海ほ下)	19.1 (19.3)	32.69 (31.99)	6.0 (6.0)	8.2 (8.2)		45 (31)	185 (260)	26 (27)	
	st.31	19.1 (19.7)	32.06 (32.48)	5.0 (7.8)	8.2 (8.2)		32 (19)	202 (209)	23 (22)	
	st.23	19.9 (21.5)	33.82 (33.79)	12.0 (15.2)	8.2 (8.2)		12 (10)	62 (55)	9 (7)	
	st.1	20.0 (21.8)	33.97 (33.88)	12.0 (15.2)	8.2 (8.2)		7 (11)	45 (46)	6 (6)	
	st.10 (下洲沖)	19.2 (19.6)	32.85 (32.39)	7.0 (6.2)	8.2 (8.2)		28 (18)	158 (188)	21 (20)	
	st.12 (湊沖)	19.0 (19.4)	32.72 (32.54)	5.0 (5.9)	8.2 (8.3)		8 (19)	134 (183)	18 (20)	
	st.22 (保田沖)	19.8 (21.5)	33.81 (33.72)	13.0 (14.0)	8.2 (8.2)		2 (10)	45 (63)	8 (7)	
	st.24 (富山沖)	19.9 (21.6)	33.87 (33.82)	15.0 (13.9)	8.2 (8.2)		1 (11)	30 (51)	5 (6)	
st.26 (館山湾内)	19.9 (21.9)	33.88 (33.87)	14.0 (13.3)	8.2 (8.2)		1 (11)	31 (49)	5 (6)		

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。